

2016年5月理事会議事録

日 時：2016年5月27日（金）16：00～18：30

場 所：東京学芸大学小金井クラブ1階ホール

出 席：高倉洋彰・石川日出志・白石浩之・大竹憲昭・大谷敏三・岡山真知子・小川 望
・唐澤至朗・瓦吹 堅・菊地芳朗・釵持輝久・佐藤宏之・篠原和夫・清家 章・
大工原 豊・田中和彦・新納 泉・橋本裕行・馬淵和雄・長瀬 衛、監事：白井
久美子・吉田哲夫、（事務局：林 純子・堀田菜摘子）

欠 席：河野一也・佐古和枝・橋口定志・宮本一夫

進 行：佐藤宏之

議 長：高倉洋彰

佐藤理事から、本日の出席者は22名で過半数に達しており、本理事会が成立することが報告され、議事に入った。

会員の訃報について

佐藤理事から、奈良県の坪井清足会員が2016年5月7日に亡くなられたとの報告があり、哀悼の意を表した。

議案第335号 2015年度決算について

大谷理事から、2015年度決算は、予算との比較では旅費交通費・通信運搬費の支出が抑えられたものの、公式サイトのリニューアルに伴う外注費や名簿等の作成による印刷製本費の増により翌年度への繰越収支差額が前年度より減額となったとの説明があり、原案通り承認した。

議案第336号 平成28年熊本地震について

宮本理事欠席のため佐藤理事から、4月理事会において設置された「平成28年熊本地震文化財対策準備会（仮称）」では、熊本県の被災状況について、現地の視察及び関係機関との協議を行った。その結果、被災状況の確認や文化財救済活動、埋蔵文化財の取り扱いに関する諸課題への対応に際して、国・関係機関との協議・連携を図るためにも「平成28年熊本地震対策特別委員会」の設置が必要であり、明日の総会で設置承認を得たいとの説明があり、設置要綱（案）が提示された。審議の結果、原案通り承認した。

議案第337号 著作権規定について

石川副会長から、著作権規定のこれまでの理事会における議事経過説明があり、明日の総会対応について確認があった。総会においては、著作権規定制定の趣旨、並びに会員・協会相互にとっての利点等を詳細に説明し、会員からの意見を受けた上で、6月理事会以降に制定に向けて進めたいとの説明があり、承認した。

議案第338号 埋蔵文化財保護対策委員会委員の選考について

馬淵理事から、岡山県の委員1名、岐阜県の委員1名について追加推薦があり、選考を承認した。なお、唐澤理事から委員の任期については、今後、規定を考慮して選考してもらいたいとの意見があった。

議案第339号 社会科・歴史教科書等検討委員会委員の選考について

劔持理事から、現委員の退任に伴う委員公募の結果、期日までに3名の応募があり、4月30日（土）に委員会を開催し、新規委員3名を選出したことが説明され、原案通り承認した。

議案第340号 国際先住民族の日記念事業について

佐藤理事から、2016年3月理事会議案第323号で承認した、北海道アイヌ協会・日本人類学会・日本考古学協会共催の国際先住民族の日記念事業「考古学・人類学とアイヌ民族－最新の研究成果と今後の研究のあり方－（仮）」について、開催要綱案が提示され、開催内容について承認した。

議案第341号 後援依頼について

長瀬常務理事から、日本旧石器学会から「第8回アジア旧石器学会（APA）日本大会およびシンポジウム『ユーラシア初期上部旧石器時代（IUP）の変異性、共通性、そして定義』」の後援依頼があるとの説明があり、承認した。

議案第342号 退会の承認について

瓦吹理事から、千葉県の*会員、大阪府の*会員から2015年度をもつての退会届け、東京都の*会員・*会員からは2016年度をもつての退会届けが提出されている旨の報告があり、退会を承認した。

報告第469号 第82回総会について

大竹理事から、「第82回総会実施要項」に基づき、日程並びに理事の役割分担等の最終確認があった。また、本総会における研究発表の撮影の対応について確認を行い、前年と同様に動画の撮影については禁止とし、プレゼンデータの写真撮影については各発表者の意向に沿うことで、了承した。また、長瀬常務理事から、第82回総会の5月29日（日）の会員受付は、会員からの要望を受け、会費前納会員と会費未納会員の受付を分けることを試みるとの補足説明があり、了承した。

報告第470号 WAC-8「倫理セッション」について

佐藤理事から、第8回世界考古学会議（以下、WAC-8）のセッション「学協会でのどのような研究倫理を定めているか」において、日本考古学協会としての発表者の選出が求められたが、申込期日が迫っており、協会として準備する時間が取れないことから、企画者個人の責任において当会の倫理綱領を用いて発表を行うこととなったとの報告があり、了承した。

報告第471号 HPリニューアル検討小委員会報告並びに2015年度事業報告

小川理事から、本日5月27日（金）から、新しい公式サイト運用を開始した。日本考古学協会の概要や第82回総会案内、刊行物等の基本情報は整備したが、準備中のカテゴリーなどは順次更新を行っていく予定である。なお、これまで公式サイト作成・更新を担当していた水山会員には、明日の総会で感謝状を贈呈するとの説明があり、了承した。

報告第472号 東日本大震災対策特別委員会報告

菊地理事から、5月15日（日）に委員会を開催し、①岩手・宮城・福島3県の委員から復興事業に伴う埋蔵文化財調査の現状が報告された。②3月10日（木）に埋蔵文化財保護対策委員会と合同で文化庁と面談を行い、人員確保の課題について支援を要望した。③3月11日（金）に開催された文化遺産防災ネットワーク推進会議について報告があった。④被災自治体、派遣元機関、派遣者を対象に行ったアンケートについて、集計結果の概要が示され、協議した。詳細な分析については、報告書に反映する予定であるとの説明があり、了承した。

報告第473号 協会図書に係る検討小委員会報告

白石副会長から、5月8日（日）に小委員会を開催し、奈良大会以降の進捗状況について整理した。①会報第183号に掲載した図書受入再開については、受入停止前に送付いただいていた機関が膨大な数になることから、各機関個別には当面通知文書を送付することは見合わせる。②協会寄贈図書と奈良大学との重複本のリストは整理途中であるが、重複本は奈良大学に活用してもらう方針とする。③総会時の寄贈図書について、収集方法・奈良大学への送付方法を協議した。今後、図書交換会出展者に寄贈いただく図書については、協会分・実行委員会分ともに、前年度総会後から当年度総会までに刊行した書籍のみとする予定である。④受領書については、原則的に公式サイトでの掲載に代える。⑤協会図書に係る検討小委員会としての役割はおおむね終了したと考えられるので、明日の総会の事業報告をもって解散とし、今後は、理事会内に図書担当理事を置き、重複本の取り扱いなど調整事項が生じた際は、作業部会として対応する。また、早急に協会図書の管理・利用システムを確立する必要がある、との報告があり、了承された。

報告第474号 社会科・歴史教科書等検討委員会2015年度事業報告

釘持理事から、2015年度の事業報告があり、①第81回総会・2015年度奈良大会においてポスターセッションを行った。②アンケート調査を会報第185号への掲載と奈良大会時に行った。今後の委員会活動の参考とする。③『日本考古学』第40号に、2014年11月8日に東京学芸大学で開催した第2回シンポジウムの記録を掲載した、との報告があり、了承した。

報告第475号 社会科・歴史教科書等検討委員会報告

釘持理事から、4月30日（土）に委員会を開催し、①現委員3名の退任に伴う公募の結果を受け、新委員の選考を行った。②第82回総会で行うポスターセッションについて、協議した。ポスターセッションで配布している『歴史教科書を考える』については、第14号

を委員会発足10周年記念号としてこれまでの活動内容を総括し、全会員にも配布する。③2016年度の委員会活動について協議した、との報告があり、了承した。

報告第476号 埋蔵文化財保護対策委員会報告

馬淵理事から、2016年度4月幹事会議事録の提示並びに2016年度5月幹事会の報告があり、①三原市和霊石地蔵磨崖仏の保存問題について、崩壊が進行しているため、早急に対応を検討する必要がある。②鎌倉市円覚寺西側結界遺構について、4月28日付で保存要望書を再度提出し、5月20日（金）に鎌倉市と面談を行った。③WAC-8の「日本考古学フェア」で行うポスターセッションについて協議し、より詳細な情報が求められたことが説明され、了承した。

報告第477号 高尾山古墳の保存・活用に関する協力について

篠原理事から、明日の総会における報告内容の説明と、明日及び明後日に会場において、沼津市に關係する会員が高尾山古墳の保存・活用における寄付・ふるさと納税の説明と協力の呼びかけを行うとの説明があった。総会の報告事項では沼津市の取り組みについて紹介することで、了承した。

報告第478号 監査結果の講評について

白井監事から、5月13日（金）に監査を行い、2015（平成27）年度の貸借対照表、正味財産増減計算書等の決算報告を監査した結果、適正に行われたと判断した。講評として、①事業報告を文書として監査までに提出するよう各担当に求めるとともに、事業報告の説明に総務担当理事の監査への出席が求められた。②「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律」による監査内容を報告・承認する理事会と総会の期間の定めから、日程を検討する必要がある。③常置委員会について、長期にわたる委員会については、現在の状況に合わせた見直しが必要ではないか、との報告があり、了承した。

報告第479号 機関別認証評価に係る専門委員の選考結果について

長瀬常務理事から、独立行政法人大学改革支援・学位授与機構から過日に推薦した機関別認証評価に係る専門委員の選考については見送ることになったとの報告があった旨の説明があり、了承した。

報告第480号 業務執行理事の職務執行の報告について

高倉会長から、定款第24条の3に則り、2015年度後半期の会長としての各種行事・会議等の出席・職務執行状況について報告があった。

その他

（1）協会賞授与式での出版社の総会参加について

石川副会長から、第6回日本考古学協会大賞の関根達人氏『中近世の蝦夷地と北方交易』を出版した吉川弘文館の担当者から、総会での授賞式に出席したいとの連絡があり、普及の面から授賞式への出席を認めたとの説明があった。

(2) 高校生ポスターセッションの取材について

佐藤理事から、朝日中高生新聞から高校生ポスターセッションの取材依頼があった。会長・両副会長、企画・広報で相談の上、取材者・取材高校には許可を取っていただいた上で、協会としては普及・啓発の目的から取材を認めたとの説明があった。

(3) 2018年度大会開催地の候補について

篠原理事から、2018年度大会については、静岡県での開催を受ける方向で検討中であるとの説明があった。

(4) 総会におけるWAC-8の開催について

佐藤理事から、WAC-8への協力について、明日の総会の事業報告において説明するとの報告があった。また、明日及び明後日の第82回総会中に会場において広報活動を行う。

以 上

